



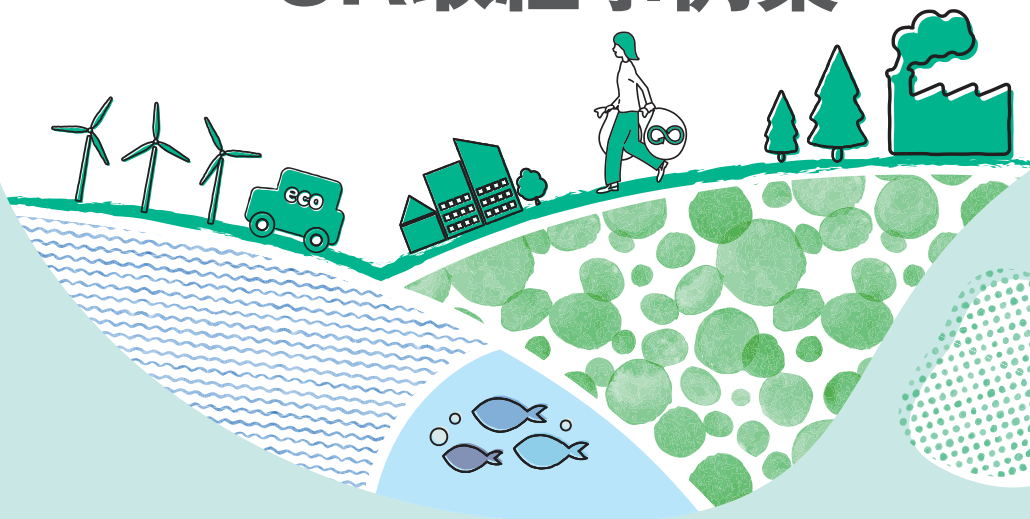
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

滋賀県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



令和5年度

プラスチックごみゼロ 食品ロス削減 3R取組事例集



令和6年(2024年)1月
滋賀県

目 次

プラスチックごみ/食品ロス/3R 現状と課題	1
------------------------	---

プラスチックごみ削減の取組紹介

vol.1	工房シーダーノ	2
vol.2	宮川印刷株式会社	3
vol.3	花笑み.Link(ハナエミ・リンク)	4
vol.4	株式会社イカリファーム	5
vol.5	路地裏小さな弁当屋sotoko	6
vol.6	無印良品ルビットパーク南草津(株式会社 良品計画)	7
vol.7	生活協同組合コープしが	8
vol.8	セトレマリーナびわ湖	9
vol.9	株式会社平和堂	10
vol.10	株式会社かめやクリーニング	11

食品ロス削減の取組紹介

vol.1	つなぐキッチン(食まちアグリゲーション)	12
vol.2	Going Nuts!	13
vol.3	フードバンク滋賀	14
vol.4	グリーン近江農業協同組合(ファーマーズマーケット きてか〜な)	15
vol.5	Kuradashi大津SA下り線(株式会社ジェイプロジェクト)	16
vol.6	株式会社あいふあーむHIKIDA	17
vol.7	古着と日用品tetra	18
vol.8	浅小井農園株式会社	19
vol.9	生活協同組合コープしが	20
vol.10	フィッシャーアーキテクト	21

3R(循環資源の再使用・再生利用等)の取組紹介

vol.1	サンキューファインホース夢プロジェクト(steedプロジェクト)	22
vol.2	株式会社ブルーム	23
vol.3	Linkしが	24
vol.4	油藤商事株式会社	25
vol.5	学生服リユースshopさくらや滋賀草津店	26

令和4年度「滋賀県食品ロス削減優良取組表彰」受賞者紹介

生活協同組合コープしが	27
フードバンク滋賀	28
Going Nuts!	29

本冊子では、県内においてプラスチックごみや食品ロス削減を始めとする3Rの取組を積極的に行われている事業所や施設・店舗、団体等の取組事例を紹介します

3Rで目指す社会

滋賀県では、令和元年8月、事業者、県民団体、行政を構成員とする「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」と県との連名で、「滋賀県プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を行い、ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、これまでの取組を活かしつつ、より一層3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組を推進することにしました。リデュースはごみの発生そのものを抑制すること、リユースは何度も繰り返し使用すること、リサイクルは再び原材料として利用することです。

3Rの取組の推進を通じて、温室効果ガスを削減しCO₂ネットゼロに寄与するとともに、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済社会システムを見直し、循環型社会の形成を目指します。



宣言の詳細は、滋賀県ホームページをご覧ください ▶▶▶



プラスチックごみ削減に向けた取組の状況

世界では、プラスチックごみが河川等を通じて内陸から海へ流れ込み、生態系を含めた環境の悪化をもたらしており、大きな課題となっています。さらには、近年、マイクロプラスチックによる環境への影響についても懸念されています。

こうした中、国は、プラスチックのライフサイクルに関わるあらゆる主体におけるプラスチックの資源循環の取組を促進することを目的に、令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を施行しました。

県では、令和3年3月に県民や事業者等のプラスチックごみ削減の手引きとなる「滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針」を策定し、ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、県民、事業者、団体、行政等がそれぞれ役割を分担し、互いに連携・協力しながら、プラスチックごみゼロに向けた取組を推進しています。



（「しがプラスチックごみ削減行動宣言」の実施事業者募集）

令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されたことを踏まえ、使い捨てプラスチック製品の使用の合理化や事業活動に伴うプラスチックごみの発生抑制等の取組を実践する事業者の宣言を募集しています。この宣言を広く県民等へ周知することで、全県的な取組の拡大につなげていきたいと考えています。(宣言書の様式は、右の二次元バーコードからダウンロードできます。)



食品ロス削減に向けた取組の状況

我が国では、まだ食べることができる食品が日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生しています。日本の食料自給率は低く、食料の多くを海外からの輸入に依存する中、世界では深刻な飢えや栄養不良で苦しむ人々が存在しており、食品ロスの削減は真摯に取り組むべき課題です。

滋賀県では、事業者、関係団体、学識経験者、国・県・市町等が連携協力を図りながら、近江商人が大切にしてきた「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコプロジェクト」を立ち上げ、食品ロス削減に向けた取組を推進してきました。一方、国においても、令和元年5月に「食品ロス削減の推進に関する法律」を制定し、食品ロスの削減を「国民運動」として位置付けるなど、削減の機運はますます高まっています。

こうした状況を踏まえ、県は令和3年3月に食品ロス削減の取組を具体化した「滋賀県食品ロス削減推進計画」を策定し、より一層取組を推進しています。



滋賀県食品ロス削減推進計画の詳細 ▶▶▶ 裏表紙参照

プラスチックごみを減らそう!



工房シーダーノ
(守山市)



HPはこちらから

取組内容

“大麦ストロー”から広げる 脱プラ・ムーブメント!

工房シーダーノは、ストロー(straw)の語源である「麦わら」を使用した環境にやさしい大麦ストロー“すとりーている”の製作・販売を通して、プラスチック削減を目指すとともに、皆が住みやすい地球環境を持続するために、脱プラスチックのライフスタイルを考えるきっかけ作りの活動を行っています。

ストローの材料は大麦の茎の部分で、滋賀県産の農業化学肥料不使用の大麦を使用しています。「子どもの時は麦わら(麦の茎)でジュースを飲んでいた」という話を聞いたことをきっかけにプラスチック問題について考えるようになり、ちょうどその頃、スターバックス等での紙ストローの取組がマスコミで取り上げられていたこともあり、大麦でのストロー作りを本格的にスタート。現在は、製作した大麦ストローを県内を中心に販売し、企業などのノベルティとしても採用していただいています。



ワークショップの様子

100%自然からでき、使用後は自然に還る大麦のストローが、脱プラスチックのキッカケになるよう取組を続けていきたいと思えます。

また、大きな環境問題を引き起こしているプラスチックについて多くの方に知ってほしい、大麦ストロー&ストローケース作りや、ヒンメリ作りを通して環境問題を学べるワークショップも開催しています。



ストローケース



←ヒンメリ(北欧生まれのモビール)



商品名「すとりーている」は“ゴミになるプラスチックのストローっている?”というつぶやきから生まれたんだ。

大麦ストローは、弾力性の無い固い紙ストローと違って弾力性(しなやかさ)があるので、口にくわえた時の感触がプラ製ストロー以上に優しくてブラボー!



大麦ストロー「すとりーている」

工房シーダーノ

Tel:090-6238-8182 Mail: straw.tail20@gmail.com
HP: https://straw-tail.sakura.ne.jp/

(ワークショップ情報はこちらから)

事業内容:麦わらストローの製作、脱プラスチックの普及・啓発に向けた講座やワークショップの開催

“生活の中のプラスチック”を“プラスチックじゃないもの”へ置き換える行動を「脱プラ5」と称し、啓発を行っています。

- ①ペットボトル⇒マイボトルハ
- ②プラ製容器⇒ガラス・ホーローハ
- ③プラ製スポンジ⇒麻たわしハ
- ④パック売り⇒量り売りハ
- ⑤レジ袋⇒エコバッグハ…更なる脱プラ・ムーブメントを起こしましょう!



代表 八尋由佳さん



プラスチックごみを減らそう!



宮川印刷株式会社
(大津市)



HPはこちらから

取組内容

環境にやさしい紙製 A4 クリアファイル「紙ワザファイル」

宮川印刷では、紙製品を取り扱っている事業者が出来ることとして、紙製のクリアファイル「紙ワザファイル」を商材に掲げ、印刷会社の得意とする分野を活かしたプラスチック削減の取組を行っています。

「紙ワザファイル」は、数ある紙製ファイルの中でも、透けている、カラーが選べる、丈夫で繰り返しの使用が可能等、プラスチックファイルに劣らない紙ファイルです。

◆「紙ワザファイル」の最大の特徴

- ①前面は「ワックスプラス加工」
半透明で、内容物が見える。カラーバリエーション有り
- ②オンデマンド印刷が可能
お渡しする相手ひとりひとりに合わせた内容の印刷が可能
例)「〇〇様」の部分を変えて印刷
- ③1部からでも印刷可能
ロット数に縛られることなく注文できるので、無駄が発生しません。
小規模なイベントやパーティ、謝恩会などにも気軽にお使いいただけます。
- ④資源ごみとしてリサイクル可能

その他、抗菌効果を施した紙製のマスクケースや、窓付き封筒の窓の部分への透ける紙の使用など、プラスチックから切り替えできるものを取り扱っています。

プラスチックのクリアファイルに比べると、価格の追いつかない紙製クリアファイルですが、今後もお客様に紙製ファイルのご提案を重ね、事業者としてプラスチック削減に貢献出来ることをお伝えしてまいります。



中が透けて見える「紙ワザファイル」



カラーバリエーションも豊富
表の印刷も1部から可能



抗菌効果もある紙製のマスクケース

紙ワザファイルの注文は1枚から可能なので、小グループでのイベントやパーティなどでもロットを気にせず気軽に無駄なく利用できるとは、まさに神ワザ!



宮川印刷株式会社

〒520-0846 滋賀県大津市富士見台3番18号
Tel:077-533-1241 Fax:077-534-0846
HP : <https://www.miyagawainsatsu.co.jp/>
事業内容: 印刷全般、マーケティング・販促企画、グラフィックデザイン、
Web制作、動画制作、イベントサポート、業務代行

2022年、創業110周年を迎えた宮川印刷は、環境保護印刷推進協議会(E3PA)が定める最高クラスの認証基準をクリアし「クリオネゴールドプラス」を取得しています。『ワクを超えてワクワクする未来へ。』を合言葉に、環境に配慮したご提案をワンストップで行ってまいります。



営業部 部長
長谷川 諭さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合せ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

プラスチックごみを減らそう！



花笑み.Link (ハナエミ・リンク)
(東近江市)



HPはこちらから

取組内容

「みつろうラップ」で人も地球も Happy に！

洗って繰り返し使える食品用ラップ

綿や麻の生地に蜜蝋※などを染み込ませて作る「みつろうラップ」は、洗って繰り返し使える食品用ラップです。プラスチック素材の使い捨てラップから置き換えて使用することで、日々の生活からプラスチックごみを削減することができます。花笑み.Link は、ごみを減らして大切な地球を守るために、滋賀県産のオーガニック蜜蝋などを染み込ませた体にも食材にも優しい「みつろうラップ」の販売とワークショップを行っています。



使い方もやさしい



お手入れもやさしい



お財布にやさしい



食材にやさしい



地球にやさしい



- ◆手のぬくもりで「みつろうラップ」を包むことで、好きな形に自由自在。使用後は水かぬるま湯でやさしく洗って、自然乾燥することで何度でも繰り返しの使用が可能です。
- ◆蜜蝋の持つ天然の保湿・抗菌作用で食材も長持ち！野菜や果物はもちろん、ほかにもサンドイッチやおにぎりを包んだり、器にフタをしたり、使い方もアイデア次第！適切なリペアをすることで1年以上使用できます。
- ◆最終的には、土の中で自然分解させることで土に還してあげることもできるので、地球環境にもやさしいサステナブルなアイテムとも言えます。



※蜜蝋:働き蜂が自分たちの巣を作るための蝋(ロウ)で、蜂の体から分泌される。

切れ端も無駄にしない

正方形のみつろうラップを作る際にどうしても出てしまうハギレ。そのハギレを使ってブローチやヘアアクセサリなどを制作しています。捨てるような物でも「もったいない」精神で、アイデア次第で素敵にアップサイクル！

「みつろうラップ」から始める
“脱プラ”と“脱使い捨て”…
毎日の生活に小さな変化を加えることが、地球を救う大きな力になる予感がしてブラボー！



花笑み.Link(ハナエミ・リンク)

※只今、店舗は準備中(Coming soon!)

HP: <https://hanaemi.link/>

(ワークショップ情報はこちらから)

事業内容: みつろうラップの販売とワークショップ、ヴィーガンおうちごはん教室、50年森マルシェ主催、余り布でつくる小物の販売等

40歳でこどもを授かり、食の安全以外でもケミカルなものを無くしたいと「みつろうラップ」に出会い、環境問題を知りました。ワークショップでは、みつろうラップの作り方・使い方はもちろんのこと、プラスチックによる体や環境への影響についてもお話しています。



代表 南方 智美さん

プラスチックごみを減らそう!



株式会社イカリファーム
(近江八幡市)



HPはこちらから

取組内容

微生物が分解できる、プラ被膜のない肥料を使用

環境保全型農業を実践する「エコファーマー」

“農業をもっと楽しく、もっとわくわく”

日本一の“マザーレイク”琵琶湖を擁する滋賀県は、非常に環境保全に力を入れている地域です。その地で人と自然に優しい農業を心がけ、“美味しい”のはもちろん、環境への負荷を減らす持続可能な農業の実践として様々な取組を行っています。

プラスチックごみの削減の取組としては、自然に分解できないプラスチック被膜の肥料は使用せず、微生物で分解できる環境に優しい肥料を使用しています。

また、田んぼや畑に還元していた大麦の茎の部分を使って、土に還る「麦わらストロー」の制作・利用促進を通じて、脱プラスチックに貢献しています。

その他、農業を減らす取組や、用水路へ濁水を流さない取組、乾いた田んぼに直接種もみを蒔くことで、生育時のメタンガスの発生を抑えるお米の乾田直播技術の実践、太陽光発電システムによるクリーンな再生可能エネルギーの使用を実施しています。

加えて、お米を収穫した後の稲わらを近江牛の餌として提供し、その牛ふんを堆肥として土作りに活かし、化学肥料を減らすとともに、資源として循環利用しています。

これらの持続性の高い農業生産方式が評価され、「エコファーマー」として滋賀県知事認定を受けています。また、農産物は、「環境こだわり農産物」として滋賀県の認証を受けています。引き続き、人と自然に優しい農業を実践してまいります。



稲わら以外のモミなどの有機体も、野焼きをする事なく全量土中に還元。冬期には、混合肥料として散布する循環型農法を採用。



環境こだわり農産物の認証



株式会社イカリファーム

〒523-0075 滋賀県近江八幡市野村町3850番地
Tel:0748-47-3911 email: ikarifarmshop@ikarifarm.com
HP: https://www.ikarifarm.com/
事業内容: 環境にやさしいお米・小麦・大豆の生産、販売。
農作業・農地整備、乾燥調製作業請負等

ずっと農作物を育ていけるように環境に優しい農法で育てるように心がけています。小麦は学校給食の原料として提供し、地産地消に貢献しています。運送にかかる二酸化炭素の排出を抑え環境負荷を減らすことにも繋がっています。



代表取締役
井狩 篤士さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合せ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

プラスチックごみを減らそう!



路地裏小さな弁当屋 sotoko
(大津市)



Instagramはこちらから

取組内容

路地裏から、美味しく無理なく“プラごみ”削減

路地裏小さな弁当屋 sotoko(ソトコ)は、容器シェアリング・サービス「リパコ」を導入しています。

sotoko で販売している「毎日食べたい sotoko 弁当」は、プラスチック容器を使うことへの抵抗感と紙の容器の使いやすさから、開店当初から紙製の弁当容器を使用しており、プラスチックごみを出さない方法で販売を続けてきました。また、スープジャーやタッパー持参での購入を希望されるお客様にも対応させていただいており、ごみそのものを発生させない販売方法も行っていました。こうした販売を行っていたこともあり、プラスチックごみを減らすという目的を同じくするリパコの導入を勧められた際、微力ながら参画させて頂くことにしました。

現在は、従来の紙の容器と並行してリパコによるお弁当の販売を行っています。(リパコ利用の場合は、前日までの予約をお願いしています。)



紙製容器の「毎日食べたい sotoko 弁当」



シェアリング弁当容器「リパコ」のお弁当

リパコを利用されたお客様からは、

- ・見た目のデザインも良いので、使用することでテンションが上がる
 - ・お母さんが自分のために作ってくれたお弁当のようで、暖かさを感じ、幸せな気持ちになれた
- など、ご感想をいただき、嬉しく思います。

また、遠方の方にも興味を持っていただくこともあり、お客様との繋がりが広がっていると感じます。

路地裏の小さなお店ですが、この取り組みを更に進めて、プラスチックごみ削減の意識づけを美味しく無理なく広めていきたいと思っています。

◆リパコって何?◆

「リパコ(Re+箱)」とは、「プラスチックごみを減らしたい」という想いのもと集まった参加店舗の「統一リユース容器」の名称です。参加店舗におけるテイクアウトメニューまたは食べきれなかった料理をリパコに入れて持ち帰ることができます。

リパコは、木の製品を製造・加工する過程で出される木くずをプラスチックと融合させたバイオマスプラスチック製品です。電子レンジや食洗器にも対応し、繰り返し使用が可能です。LINE 等で申込ができ、参加店舗にてデポジット料金1000円を支払うことで利用することができます。



参加店舗など、詳しくはコチラ →



娘さん手描きの暖簾でお出迎え

路地裏小さな弁当屋 sotoko

〒520-0044 滋賀県大津市京町 4 丁目 5-23
Tel:090-2068-1509

Instagram : https://www.instagram.com/sotoko_bento/

事業内容: 自家製果実酢と麴の調味料を使った旬野菜たっぷりのお弁当の販売

インスタグラムを通じて、お買い物バッグの持参を呼びかけるなど、お客様に環境意識を持っていただけるような啓発・取組を行っています。現在ご希望のある方のみ無料でお渡ししている使い捨て箸ですが、この春からは有料化を検討しており、更なる環境配慮に向けた意識づけを路地裏から発信していきたいと思っています。



店主 照屋 真理さん

プラスチックごみを減らそう!



無印良品ルビットパーク南草津
(株式会社 良品計画)
(草津市)



HPはこちらから

取組内容

給水スポットの設置・収納用品貸し出しサービス

株式会社 良品計画が運営する「無印良品」の店舗では、資源の再利用や有効活用の為の取組を行っています。今回はその中から一部を紹介します。

みずから、はじめよう。

無印良品は、持続可能な社会への第一歩として、「自分で詰める水」を提案し、全店舗に誰でも無料で利用できる給水器を設置しています。ペットボトルを毎回捨てるのではなく水を詰め替えることで、まずは1日1本でも空のペットボトルを減らすことから、お客様にプラスチックごみの削減に取り組んでいただけます。少しでもごみを減らせるよう、繰り返し使える「自分で詰める水のボトル」もつくりました。

また、狭小店などを除く全店舗で、「PET 素材回収リサイクル」も行っています。使い終わった化粧水や乳液のボトル、「自分で詰める水のボトル」が破損した場合や買い替えの際などにぜひお持ちください。回収したボトルはポリエステル原料にリサイクルすることで、ごみを削減し、石油由来原料の有効活用につなげています。

収納用品の購入前の貸し出しサービス



お試し用の衣装ケース
(ルビットパーク南草津のみ)

こちらは全国の無印良品の中でもルビットパーク南草津の店舗でのみ行っているサービスです。販売している収納用品の多くはプラスチック製ですが、その商品を購入前に持ち帰り、試すことができます。買って見たが思っていた場所に合わなかった、イメージと違ったという事を減らし、納得して購入したものを長く使う。そうすることで不要な買い替えを減らし、プラスチックを始めとするごみの削減にもつながると考えています。



全店舗内に設置の給水器
(水のボトルも購入できます)



PET 素材回収ステーション
(化粧水・乳液の空きボトルも回収)

株式会社 良品計画/無印良品 ルビットパーク南草津

〒525-0050 滋賀県草津市南草津プリムタウン 4-17-30
ルビットパーク南草津内 無印良品
Tel:077-596-3957

HP : <https://www.muji.com/jp/ja/store>

事業内容: 衣料品、生活雑貨、食品の販売

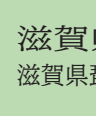
無印良品は、モノをつくり、モノを売る立場として、役割を終えたモノの行く末を考え、ムリ・ムダの少ないリサイクル・リユースの実現を目指しています。今回ご紹介した取り組み以外にも、資源を有効に利用するため様々な回収サービスを行っています。買い物に来られる際は商品以外のサービスにも目を向けていただき、ぜひご利用ください。



ルビットパーク南草津内 無印良品



ルビットパーク南草津
店長 古澤 卓弥さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合せ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

プラスチックごみを減らそう!



生活協同組合コープしが
(野洲市)



HPはこちらから

取組内容

宅配・店舗におけるプラスチックゴミ削減の取組

生活協同組合コープしがでは、以下の取組を行っています。

◆卵パック・仕分け袋の「ぐるぐるリサイクル」

宅配事業で組合員さんから卵パックを回収し、店舗で回収したペットボトルとあわせて卵パックのメーカーさんに引き渡し、卵パックとして再生され、卵の生産者のもとに戻ってくる「ぐるぐるリサイクル」を実施しています。1年間で卵パック約 28 トン、ペットボトル約 24 トンをリサイクルしています。

また、商品仕分け袋も 1 年間で約 33 トン回収し、事業で使用した発泡スチロール箱や店舗で回収したトレーなどもインゴット^(注1)に加工して、再生原料としてリサイクル業者さんに買い取っていただき、有効活用しています。

(注1) インゴット:発泡スチロールを溶かして固めたもの



卵パックの回収



仕分け袋の回収



鶏肉のノントレー包装



◆紙製カトラリーへの転換

店舗事業では、スプーン・フォーク・ストローをプラスチック製から木製・紙製に変更して、1 個につき 1 円の有償での提供としています。



紙製カトラリー

◆ノントレー商品^(注2)の提供

コープながはま店ではノントレー商品の提供を始めました。環境面のメリットだけでなく、お客様からも「冷蔵庫に保管しやすい」「まな板が汚れない」「袋に穴をあけて調味料を入れて手を汚さずに合わせられる」等ご好評をいただいています。

(注2) ノントレー商品:食品トレーを使用せずに透明フィルムで真空パックした商品



店舗内トマトバイキングのコーナー

◆専用パッケージで購入する「トマトバイキング」

全店舗で、専用カップでミニトマトを販売する「トマトバイキング」を実施しています。カップをご購入いただき、再利用してミニトマトを購入いただくと次回以降 10 円引きでお買い求めいただけます。



専用パッケージでの購入案内



東近江センター

生活協同組合コープしが

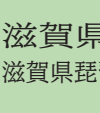
〒520-2351 滋賀県野洲市富波甲 972 番地
Tel:077-586-1112 Fax:077-586-7123
HP : <http://www.pak2.com/>

事業内容: 宅配事業・店舗事業・共済事業・夕食サポート事業・エネルギー事業・介護事業・くらしのサポート事業

リサイクルするために回収しても、どうリサイクルできるかをしっかり見据えて取り組まなければなりません。サーマルリサイクルとなってしまうと、行政の分別回収に出されたほうが効率の良い結果となってしまうことも考えられます。マテリアルでリサイクルするにはどうすればよいかをしっかりと考えて取り組んでいきたいと思ひます。



環境政策推進チーム
リーダー 濱 均さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合せ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

プラスチックごみを減らそう!



セトレマリーナびわ湖
(守山市)



HPはこちらから

取組内容

ごみゼロめざし、未来につながるホテル宣言!

セトレグループでは、プラスチック資源循環促進法施行に伴い、深刻化するプラスチックごみ問題の解決に貢献するため、2022年9月よりプラごみZEROを目指す「ZERO PROJECT」をスタートしました。その第1弾としてホテルで大量に出るプラスチックごみの削減取組を実施することとし、滋賀県のセトレマリーナびわ湖では以下の取組を行っています。

(1) ペットボトルの廃止

以前、客室の冷蔵庫に用意していた1人1本のペットボトル入りの水を廃止し、ウォーターピッチャーを用意しました。各階にウォータースタンドを設置しているので、ピッチャーに水を汲み、お部屋に持ち込んでいただけます。



各階設置のウォータースタンド

(2) 使い捨てアメニティの削減

歯ブラシ、かみそり、ヘアブラシ等は、予約の段階で持参を呼びかけており、必要な人にはチェックイン時に手渡すことにしました。これまで客室に設置していたアメニティは、未使用品でも廃棄しておりましたので、本当に必要なものだけを渡すことでプラスチックごみを始めとするごみの削減につながっています。



お部屋に持ち込めるピッチャー

また、客室に設置していた1度きりで使い捨ててしまうシャンプーなどのミニボトル入りのプラスチック製のアメニティも廃止し、浴室備え付けの大容量ボトルに置き換えています。



浴室設置の大容量ボトル

世界のほかの国と比べて日本はアメニティが過剰であり、観光・宿泊業は環境負荷が高い業界とも言われています。これからの観光・宿泊業界を維持していくためにも、引き続き、プラスチックごみを始めとするごみ削減や資源循環の取組など、できることから一歩ずつ取り組んでいきたいと思っています。



アメニティはチェックイン時に手渡し



未来につながる
ホテル宣言

セトレマリーナびわ湖

〒524-0102 滋賀県守山市水保町 1380-1 ヤンマーマリーナ内
Tel:077-585-1125 Fax:077-585-1195
HP : <https://www.hotelsetre.com/biwako/>
事業内容: ホテル、レストラン、結婚式場

未来につながるホテル宣言第2弾として、資源を循環させる取組「Circulation Action」—①琵琶湖の森林を守る Action ②規格に満たない野菜のフードロス減らす Action ③琵琶湖の生態系を守る Action—を企画中。琵琶湖岸にあるホテルとして、琵琶湖の環境保全に対して何かができるかをお客様と共に考え、行動できるよう取組を続けていきたいと思っています。



ゼネラルマネージャー
波田 裕明さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合せ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

プラスチックごみを減らそう!



株式会社 平和堂
(彦根市)



HP はこちらから

取組内容

カトラリー・食品トレーの見直しによるプラごみ削減

全国的にレジ袋が有料化する前から、滋賀県では買い物時にレジ袋の無料配布をしない取組をしており、平和堂も当初から参加していました。また、令和4年度に、これまでのレジ袋無料配布中止の取組を続けるとともに、レジ袋以外のワンウェイプラスチック容器包装・製品の削減等について「しがプラスチックごみ削減行動宣言」を行い、より一層プラスチックごみの削減を進めています。

【取組①】 無料配布カトラリー類の見直し

プラスチックごみ削減の観点から店頭で無料配布しているカトラリー類の見直しを行い、ストローやフォークの配布を中止しました。

また、スプーンについては、素材を植物由来のカネカ生分解性バイオポリマー※を100%使用したものに切り替えました。この素材は幅広い環境下で優れた生分解性を有し、今まで難しかった海洋中でも生分解されるため、使い捨てプラスチックによる環境汚染問題の解決に貢献します。



植物由来のカネカ生分解性
バイオポリマー使用のスプーン

※カネカ生分解性バイオポリマー

植物油などのバイオマス为原料とし、微生物発酵プロセスによって生産されるポリマーです。

自然界の海水や土壌に存在する微生物により分解され、最終的には炭酸ガスと水になります。

【取組②】 食品トレーの見直し

毎日店内でパック詰めを行い、販売しているお肉やお魚、お惣菜の食品トレーについて、軽量化やトレーを使わないノントレー化を増やすことで、プラスチック使用量の削減に取り組んでいます。

また、店頭では食品トレー等の回収も行っており、回収されたトレーを再びトレーとして利用する“トレーto トレー”などのリサイクルにも積極的に取り組んでいます。



軽量化されたトレー



ノントレー化された商品



店頭回収ボックス

株式会社 平和堂

〒522-0054 滋賀県彦根市西今町1番地
Tel:0749-23-3150 Fax:0749-23-3118
HP : <https://www.heiwado.jp/>

事業内容: 食料品・衣料品・住居関連品等の総合小売業

平和堂では 2005 年に環境方針を策定して様々な環境保全活動に取り組んできました。今回のご紹介以外にも詰め替え商品など環境配慮型商品の販売拡大や平和堂こだわりブランド「E-WA!」の容器包装の見直しなどに取り組んでいます。平和堂の取組は「平和堂レポート」にも記載していますので、ぜひご覧ください。 URL:<https://www.heiwado.jp/hr/report>



サステナビリティ推進室
濱崎 篤彦さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合せ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

プラスチックごみを減らそう!



株式会社 かめやクリーニング (守山市)



HPはこちらから

取組内容

包装用衣類カバーの工夫と プラスチック製ハンガーの積極的回収

令和4年4月からプラスチック資源循環促進法が施行され、クリーニング業で使用されるプラスチック製の「衣類カバー」や「ハンガー」が使用の合理化の対象品目となりました。

かめやクリーニングでは、プラスチックの削減に向けて、法律ができる前から、次の取組を行っています。

【取組①】 包装用衣類カバーの工夫

クリーニングの仕上がった衣類にかける包装用衣類カバーは、厚みのより薄いPP(ポリプロピレン)製のナイロンカバーを使用してお届けしています。
(2020年より、厚みを0.017ミリから0.013ミリに変更)

【取組②】 ハンガーの回収とリユース

お客様に使用済みのハンガーの持参を呼びかけて、ハンガーの積極的回収に努めています。お客様にお持込みいただいたハンガーは、当店のものに限り回収させていただいております。

回収したハンガーのうち、当店のものはリユースして使用し、それ以外の物はリサイクル業者に持ち込み、再びハンガーの原料に活用されています。

こうした取組に加えて、全国的にプラスチックごみ削減の機運が高まっている中、新たな取り組みとして、デポジット式のハンガーの導入を検討しています。お客様の負担にならず、更なるプラスチックごみ削減に繋がるような仕組みを考えることで、プラスチック製品を扱う事業者として環境負荷低減に貢献していきたいと思っております。



厚みを抑えた衣類カバー



お客様へのハンガー回収の呼びかけ



回収したハンガーは、リユースまたはリサイクルへ



ロボット受付・引取機も備える店舗

株式会社 かめやクリーニング

〒524-0044 滋賀県守山市古高町 808-30
Tel:077-582-2311 Fax:077-582-2334
HP : <https://www.kameya-c.jp/>

事業内容:クリーニング業(衣料品、皮革製品、着物、靴、カバン、スニーカー、祭りの衣装等) ※滋賀県内集荷デリバリーサービスも実施。

人間が生きて行くのに必要と言われている衣食住。その一番最初にくる『衣』を扱う仕事、その『衣』をキレイにするクリーニングは生活に欠かせないものであり、もう一度着たいという想いを叶える最高にサステイナブルな仕事だと思って取り組んでいます。これからもどんどん取組をすすめていきたいと思っております。



代表取締役
片岡 芳規さん

食品ロスを減らそう



つなぐキッチン
(食まちアグリゲーション)
(大津市)



Insatgramはこちらから

取組内容

畑から食卓へつなぐフードロス削減の取り組み

私たちは、守山市の琵琶湖のすぐ近い場所で、少量多品目の野菜を栽培する農家です。野菜の生産販売と並行して、つくる人と食べる人をつなぐ拠点として、厨房兼店舗”つなぐキッチン”の運営を行っています。つなぐキッチンでは、自社農園や滋賀の農産物を使ったお弁当や新鮮な野菜の販売を行っています。農業は自然相手の仕事ですので、様々な状況から売り物にならない規格外野菜や余剰野菜が出てきます。これらをできるだけ減らし、また有効活用する取り組みをご紹介します。

○畑でのフードロス削減の取り組み

前年度の販売実績、お客様のニーズ、社会のトレンド等を参考に作付け計画を立てることで、作り過ぎやニーズのミスマッチを防ぎ、余剰野菜をできるだけ削減しています。



守山市琵琶湖近郊の自社農園



つなぐキッチンのお弁当

○規格外野菜の積極的利用

店舗では、対面販売の特徴を活かし、理由を説明して少々傷があったり、形が不揃いの野菜も販売します。お客様からも「お得に美味しい野菜が購入出来て嬉しい」「こんな少しの傷で商品にならないなんてもったいないね」など好評です。少しでも廃棄野菜を削減することにつながりますし、お客様に農業の現状も知っていただく機会になっています。また、規格外野菜や余剰の野菜をお弁当の材料としてたっぷり使うことで、資源を有効に活用しています。

○家庭でのフードロス削減のお手伝い

つなぐキッチン店舗での野菜販売は、できる限り個包装なしでばら売りをしています。お客様には必要な分だけ購入して頂くことで、家庭での廃棄食品を減らすお手伝いをしています。またばら売りすることで、容器包装プラごみの削減の推進にもつながっています。



店舗内での野菜の販売

《よっしーくんから一言!》

畑! お店! 家庭! 余剰野菜も規格外野菜も出来るだけ減らして有効活用! 生産から一元的に見られるメリットよし!



つなぐキッチン(食まちアグリゲーション)

〒520-0804 滋賀県大津市本宮2-10-16
Tel:050-8881-3346 Instagram:上記QRコードより
Facebook:https://www.facebook.com/ohmiyasai/
事業内容:・野菜の生産、新鮮野菜の販売、お弁当の販売

食まちアグリゲーションは「つくる人と食べる人をつなぎたい」との想いを軸に食、農、地域活性化をテーマに事業展開しています。2015年に起業と同時に就農し守山で多品目の野菜を生産するほか、2021年から調理加工の拠点となる”つなぐキッチン”をオープンし、お弁当や総菜、新鮮野菜の販売を行っています。



代表 渡邊維子さん



食品ロスを減らそう



Going Nuts!
(近江八幡市)



HPはこちらから

取組内容

繰り返し使える瓶での量り売り販売

「量り売り」で美味しく無駄なく、持続可能なフードスタイル

Going Nuts! は食品ロス削減に効果的な、必要な分だけ購入できる量り売りナッツ専門店です。約70種類のナッツ、ドライフルーツやナッツペースト等の全てを「量り売り」により購入いただけます。

試食で味を確かめることも出来るので、「買ってみたけれど好みの味ではなかった」ということも無く、「欲しいものを欲しい量だけ買う」このフードスタイルは、食品の廃棄を減らすことにもつながる持続可能な販売方法と言えます。

また、リユース容器(Going Nuts! オリジナル瓶(GN 瓶)またはマイ容器等)の持参を呼びかけており、当店オリジナル瓶を持参していただくと“リユース特典”などがあるので、お客様も楽しくお得にお買い物することで自然に食品ロス削減に取り組めます。

昨今、形や色、大きさをこだわり過ぎるあまり、規格外のものは廃棄され、食品ロスが増え続けています。

そのため、無添加やオーガニック、無農薬にこだわり、食品の外見よりも中身を重視することの大切さを発信することで、食品ロス削減につなげています。

※瓶は丈夫なので繰り返し使うことができ、プラスチックごみ削減にもつながります。

※瓶の原材料は自然由来の原料からできており、リサイクルも可能です。



<量り売りのナッツと、使ってお得な GN 瓶>
量り売り専用の什器を使用しているので、衛生管理も万全です。

GN 瓶のリユース特典

フードロスや
廃プラスチック削減

容器は繰り返し使おう

必要な分だけ購入

食材は全部使おう

毎日の消費から世界を変えよう。

使い終わった瓶はGoingNuts!に持参すると、リユース特典があります。

- ナッツバター量り売り 1円/g 割引 (100gで100円割引)
- ナッツ&ドライフルーツ詰め放題 50円 割引 (※GN瓶(1L)以上) 対象

GN 瓶のリユース特典



しぼりたてナッツペーストも
GN 瓶で購入できます。

Going Nuts!

〒523-0862 滋賀県近江八幡市仲屋町中 21 まちや倶楽部内
Tel:0748-43-1933 Fax:0748-43-1934
HP : <https://www.going-nuts.com/>

事業内容:ナッツとドライフルーツの販売・卸売・加工



恵まれた自然環境にある滋賀県で食品ロス&ごみ削減に取り組む事で、豊かな自然を守ることができます。美しい自然は沢山の人が興味を持つ魅力となります。その上で、有機栽培などの先進的な取り組みを通して未来の滋賀県を作っていく事が大事なことだと思います。量り売りという身近な買い物が未来につながるという事を知って頂ければ嬉しいです。



オーナー
道城 牧人さん



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

食品ロスを減らそう



フードバンク滋賀

(草津市)



HPはこちらから

取組内容

集荷～仕分け～配達をノンストップで繋ぐ笑顔

「もったいない」から「ありがとう」へ

「フードバンク」とは品質には全く問題ないにも関わらず、市場に流通されることのない食品等を無償で引き取り、福祉施設や生活に困っておられる世帯の方に無償で配布する支援活動のことです。

フードバンク滋賀は、NPO 法人として 2009 年春より活動を開始し、2013 年からは任意団体にリニューアルして、現在は毎週水曜日と土曜日の 2 回フードバンク活動を行っています。

立ち上げ当時はリーマンショックが原因で困窮された外国人世帯の食糧支援を行っていました。今は母子家庭、单身男性、高齢者世帯と幅広く支援しています。また、児童福祉施設等にも物資をお届けしております。



笑顔で受け取る子どもたち

フードバンク滋賀の最大の特徴は、活動日(毎週水曜日と土曜日)当日の午前中にフードボックス等の設置場所やスーパー、パン屋、農園などをまわって食品を収集し、日中に仕分けしてその日のうちに配りきることに。このシステムは全国的にも珍しい形で、その日のうちに配りきるため、野菜や果物等の生鮮品も取り扱いが可能になります。



集められた物資とスタッフのみなさん

収集した毎月1tを超える食品は、毎週少なくとも約 50 世帯 200 名以上の生活困窮世帯へ無償でお届けしています。

また、他のフードバンク団体の立ち上げに協力したり、企業や大学等と連携した取組も行っており、フードバンク運営のノウハウを伝えることも私たちの使命と考えています。これからも皆の笑顔を繋ぐ活動を進めてまいります。



仕分けされた物資～廃棄から支援へ

フードバンク滋賀

〒525-0033 滋賀県草津市東草津1丁目2-35
草津地域福祉事業所 みんなの家 気付
Tel:080-3804-4425
HP : <https://fb-shiga.gicz.tokyo/>

事業内容:食糧支援活動(不要になった食品の回収とそれを必要とする人への配布を行うフードバンク事業)

昨今、生活にお困りの世帯が増えております。食料品の提供とそれを仕分け、お届けするスタッフも募集しております。



副代表
中村 勝人さん



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

食品ロスを減らそう



グリーン近江農業協同組合
(ファーマーズマーケット きてか~な)
(近江八幡市)



HPはこちらから

取組内容

売れ残り野菜で「野菜レスキューBOX」の販売

売れ残りの野菜を詰め合わせた「野菜レスキューBOX」の販売

JAの直売所ファーマーズマーケットきてか~な(以下きてか~な)では、JA全農が運営するインターネット販売サイトに参画しており、サイトの購入者へ同店取扱商品を発送しています。その中でフードロス削減目的の商品「野菜レスキューBOX」を販売。発送前日に売れ残った野菜を詰め合わせるもので、多少の品質劣化について同意いただいた購入者の方へ野菜を選定し、発送しています。

詰め合わせる商品は正規価格で買い取るので、きてか~なへ出荷される農家さんへの負担はありません。売れ残りの削減や農家の売り上げ確保につながり、少しでも多く売れることで次回の出荷意欲向上へつながればと期待しております。

詰め合わせる野菜に合わせたレシピも数点添えています。特に珍しい野菜には必ず添えるようにして、購入者の方へ安心して食材を使っていただけるようひと手間をかけております。

社会福祉協議会への食材寄付

きてか~なにて取り扱っている食材の中で余ったものを年数回、地域の社会福祉協議会に寄付し、有効活用していただいています。食材は主にタマネギやニンジンなどの土もの野菜が中心です。

私達きてか~なの従業員は、農家さんたちに出荷頂いた商品をお客様へ販売したり、商品情報をお伝えするつなぎ役です。1つでも売れ残りが減らせるよう従業員で協力しあい、地元農産物を少しでも多くの方にお買い求めいただき、地元農産物のファンを増やしていければと思っています。



野菜レスキューBOX 詰合せ中

グリーン近江農業協同組合 (きてか~な)

〒527-0029 滋賀県東近江市八日市町 1-17
(直売所: 〒523-0821 近江八幡市多賀町 872)
Tel: 0748-25-5100(直売所: 0748-32-0111)
Fax: 0748-25-5111(直売所: 0748-32-0112)
HP: <https://www.jagreenohmi.jas.or.jp/>



事業内容: 信用・共済・購買・販売・指導・利用・観光・資産管理・高齢者福祉・その他総合農業協同組合としての多岐にわたる事業を展開。



ファーマーズマーケット
きてか~な
店長 姫野 昭祐さん



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

食品ロスを減らそう



Kuradashi 大津 SA 下り線
(株式会社ジェイプロジェクト)
(大津市)



HPはこちらから

取組内容

フードロスの可能性のある商品の積極的販売

サービスエリアで取り組むフードロス削減 ～Kuradashi のオフラインショップ～

名神高速道路大津サービスエリア(下り線)(以下「大津SA」)を運営する当社は、株式会社クラダシと連携し、同社の運営する「Kuradashi」常設のオフラインショップを大津 SA 下り線に出店しています。

Kuradashi では、

- 割れ等のある商品
- 少しの傷などの「規格外商品」
- 製造日から賞味期限までを3等分し、最初の3分の1を超えると納品できなくなる「3分の1ルール」に該当した商品
- クリスマスケーキや桜や紅葉などの四季折々のイベントが終わると同時に行き場を失ってしまった「季節商品」

などの、消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難となってしまう商品を販売しています。

お客様にはお求めやすい価格で購入いただくと同時に、尚且つフードロス削減ができる、近江商人の理念である売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の取組と考えています。

サービスエリアはお客様がお車で立ち寄る場所という特徴があることから、「Kuradashi」のオフラインショップでは初となる商品のケース売りも行っています。

また今後は、サービスエリアならではの取り組みとして、Kuradashi で販売している商品を使用したデザート、お食事の提供も視野に入れて検討を進めてまいります。



Kuradashi 大津サービスエリア下り線 店舗



飲料、レトルト食品、菓子など様々な種類の商品



Kuradashi オフラインショップ初のケース売り



大津サービスエリア下り線

株式会社ジェイプロジェクト (大津サービスエリア下り線)

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘 2-8-1

Tel:077-510-0808

HP : <https://www.jgroup.jp/business/jproject/shop/269>

事業内容:お土産販売、フードコート、テイクアウトコーナー

我々はサービスエリアを運営しておりますが、会社の主な事業は飲食業です。兼ねてからフードロス問題には意識があり、Kuradashi 様の取り組みを知りサービスエリアという多種多様なお客様がご来店する施設で販売することによりフードロス問題を知っていただけたらと考えております。



店長 菊川 翔太さん

食品ロスを減らそう



株式会社あいふあーむ HIKIDA
(彦根市)



HPはこちらから

取組内容

規格外野菜を使った6次化商品開発・販売

あいふあーむ HIKIDA では、小松菜・ほうれん草の生産過程で発生する規格外野菜の廃棄による食品ロスを減らそうと『リボベジ PROJECT』を立ち上げ、立命館大学の学生と規格外野菜を活用した6次化商品を開発しました。プロジェクトでは、食マネジメント学部の学生 13 名をインターンシップとして受け入れ、農業体験から商品の開発、販売までを実施しました。



インターンシップでの農業体験

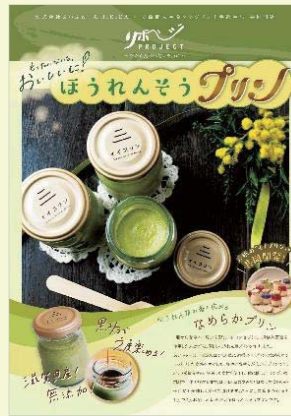
「6次化」とは…農林漁業(1次産業)の生産者が、食品加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)にも取り組むことで、生産物の価値をさらに高めること

農園体験では、実際にどのように野菜が作られ、規格外の野菜が出ているのか、学生たちに学んでもらいました。商品開発の過程では、途中で試食会や中間発表会を行い、開発中の商品についての改善点やアドバイスを出し合いながら開発を進め、2021 年度には「小松菜パンケーキミックス」や「ほうれん草のジェノベーゼ」「小松菜のスノーボールクッキー」の3商品を商品化して滋賀県内のスーパーや百貨店で販売しました。



学生たちとの商品開発

2022 年度には、彦根のご当地プリン「彦根イプリン」の協力を得て、独特の苦みもなく野菜嫌いの子どもも美味しく食べられる「ほうれん草プリン」を開発しました。



ほうれん草プリンの開発

学生との活動を通じて自分たちで開発した商品を消費者の皆さまにお届けすると共に、食品ロス削減という社会課題の解決の一助になればと思います。



県内スーパー・百貨店での6次化商品販売



琵琶湖と荒神山に見守られた
あいふあーむ HIKIDA

株式会社あいふあーむ HIKIDA

〒522-0059 滋賀県彦根市三津屋町 1194
Tel:0749-25-0634 Fax:0749-25-0634
HP : <https://ifarmhikida.com/>

事業内容:お米や野菜の生産・販売

株式会社あいふあーむ HIKIDA は滋賀県彦根市でお米や野菜を生産しています。農業のプロとして、おいしい・安心安全・体に良い、お米や野菜を作るため日々真剣に農作物と向き合っています。あいふあーむ HIKIDA にしかつけないもの。まごころの詰まった美味しさをお届けします。



代表取締役
足田 翔悟さん



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

食品ロスを減らそう



古着と日用品 tetra

(長浜市)



HPはこちらから

取組内容

地域と連携したもったいない野菜の販売

tetra(テトラ)は、古着と日用品を販売する長浜のお店ですが、週に一度、長浜の農家の共同出荷組織である【Nagahama おてまいり屋】さんでロスになりそうな野菜を《もったいない野菜》と呼んで販売しています。

おてまいり屋さんからスーパーなどに出荷される野菜は、栽培期間中に農薬や化学肥料を使用せずに育てられたものです。こうして手間暇かけて丁寧に作られたお野菜でも売れ残ることがあり、その際はスーパーから返却され、お客様にお届けできないということを目にし、非常にもったいなく感じました。また、ロスになるくらいならば、私が買いたいという気持ちになり、他にもそう思う人は少なからずいるのではないかと思います。

そこで、ロスにならないように、まだおいしく食べられる野菜を購入してもらう機会を作るため、tetra で販売することになりました。

tetraで販売されるもったいない野菜は、商品に偏りがあり、採れたてではないものの、品質は確かで十分おいしく食べられるものばかりで、価格はお求めやすくなっています。

毎週火曜日を販売日に行っていますが、ロスになりそうな野菜が無ければもったいない野菜の販売もありません。当日の販売情報は、当店とおてまいり屋さんの両方のInstagramにて発信しています。

私自身ももったいない野菜を自家用に買い取り、おいしく活用して、食品ロスを減らしています。より良い未来のために、当店なりにできる取組を、引き続き、時には地域と連携してすすめていきたいと思ひます。



もったいない野菜の販売



おてまいり屋の山田さんと店頭でロス野菜を販売するオーナーの池田さん



古着と日用品 tetra

〒526-0053 滋賀県長浜市宮前町 10-5

Tel:0749-65-8801

HP : <http://tetra-furugi.jp>

事業内容:中古衣料と日用品の販売

環境問題だけでなく、世界のあらゆる課題は決してどこか遠い国の話ではなく、私たちの暮らしに必ず繋がっていると感じています。今日着る服も、食べた朝ごはんも、全部が世界と繋がっている。一人ひとりの生き方、暮らし方が世界を作っているのだと思います。だからこそ、消費者としても、事業者としてもよい循環が生まれる選択をしたいと思ひます。



オーナー 池田 友紀子さん

「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



食品ロスを減らそう



浅小井農園株式会社
(近江八幡市)



HPはこちらから

取組内容

技術力向上と情報を武器に食品ロスが激減！

持続可能な農業×SDGs×浅小井農園

創業時に、県内初の食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる JGAP 認証を取得した弊社は、持続可能な農業を目指し、SDGs17の目標全てに取り組みながら「朝恋トマト」を栽培しています。

特に SDGs12番目の目標「つくる責任、つかう責任」への取り組みとして、創業当初多く発生していた割れトマトなどの規格外トマトの大量廃棄を減らすために、次のような努力をしています。

【栽培技術向上による割れトマトの減少】

トマトを栽培するハウスに、温度や湿度、CO₂濃度などが設定した環境になるよう制御する統合環境制御システムを導入することなどで、失敗しない栽培管理に努めています。

【地域連携を通じた割れトマトの活用】

飲食店等と連携し、割れトマトを活用した商品を提供いただくことで、廃棄を削減しています。

立命館大学の学生団体とのコラボレーションで、割れトマトを絵の具として再利用する取組も実施しています。

【割れトマトの活用事例】



クラブハリエ
スティックタイプの
ピザトーストに活用
(ラ・コリーナ近江八幡で販売中)



Rcafe at marina「朝恋トマトのカッパリーニ」
「アヒージョ」(堅田マリーナ店で提供)



横浜天下鳥草津店「朝恋トマトの炭火串焼き」



割れトマトを絵の具に



菓子長「トマト大福」(甲賀市野田本店で販売)

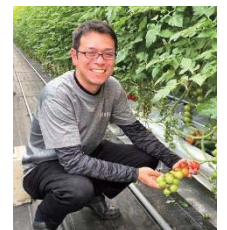


浅小井農園入口

浅小井農園株式会社

住所: 〒523-0817 滋賀県近江八幡市浅小井町 2481
Tel: 0748-43-0550
Mail: tomato1@asagoi.com
HP: http://asagoi.com/
事業内容: 「朝恋トマト」の生産・販売

研修生の時分、梅雨明け前後の気温の急落により軽トラ2台分のトマトが廃棄される現実を何とかしたいと、栽培技術の研究と地域の他業種との連携をすすめた結果が今に至っています。現在はシーズン以外での廃棄はほぼゼロになりました。



代表取締役
関澤 征史郎さん



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

食品ロスを減らそう



生活協同組合コープしが
(野洲市)



HPはこちらから

取組内容

フードドライブと野菜くずを堆肥化する取組



フードドライブの取り組み

生活協同組合コープしがでは、2020年10月から、家庭で余っている食品を回収するフードボックスの設置を開始しました。組合員をはじめ、地域住民がフードボックスへの寄付を通じてフードドライブに参加することができます。現在、宅配事業センターやコープの店舗、各事業所など県内21箇所まで寄付された食品は、フードバンク団体や社会福祉協議会を通じて、生活困窮者や必要とする施設、団体等に届けられています。



フードBOXに集まった食品

また、2022年1月には、滋賀県社会福祉協議会と包括連携協定を締結し、物流センターで発生する仕分け後の余剰在庫品を同社協へ寄付するなど、未利用食品の有効活用に取り組んでいます。

野菜くずを堆肥化する取り組み

2018年11月に、農福連携による雇用の創出と循環型社会の実現を目指して、コープしがの子会社として「ハートコープしが」を設立しました。

現在、9名の障がいを持つ方々が、店舗や青果加工センターから出る野菜くずを堆肥化し、小松菜などの栽培に活用しています。さらに、コープの店舗や宅配で販売し、過剰生産になった野菜はフードバンクに寄附することで有効活用しています。

「三方よし!!でフードエコプロジェクト」表



令和4年度「滋賀県食品ロス削減優良取組表彰」滋賀県知事賞を受賞しました。



ハートコープ 野菜くずの堆肥



ハートコープ 小松菜ハウス



ハートコープ お野菜販売コーナー



生活協同組合コープしが

〒520-2351 滋賀県野洲市富波甲 972 番地
Tel:077-586-1112 Fax:077-586-7123
HP: http://www.pak2.com/

事業内容: 宅配事業・店舗事業・共済事業・夕食サポート事業・
エネルギー事業・介護事業・くらしのサポート事業

今年でコープしがは創立30周年を迎えます。フードドライブの取り組みや地域のくらしを守る一員として、滋賀県や多くの市町、社会福祉協議会、フードバンクのみなさんとつながりが持てることが出来ました。30年の歩みに感謝し、コープしがに関わってくださるみなさんとの絆を強め、理念として掲げる「ともにつくる笑顔あふれる未来」に向かって元気にすすめればと思っています。



環境政策担当執行役員
日山 貴司さん

「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



食品ロスを減らそう



フィッシャーアーキテクト
(大津市)



HPはこちらから

取組内容

琵琶湖未利用魚の活用で目指す食品ロス削減

当社は、琵琶湖の漁師による伝統漁法であるエリ漁などの湖魚の生産を軸に販売、サービス業、水の暮らしにまつわる取組等を行うことで湖国の風景を構築する業者(フィッシャーアーキテクト)です。

漁獲した湖魚の中には、足がはやいなどの理由で、食べられるのにもかかわらず流通に乗らず廃棄せざるを得ない「未利用魚」があります。当社は、下記の取組によって「未利用魚」の活用方法を広めることで、食品ロスの削減につなげています。

◆「漁師×料理人」のコラボによるメニューの開発

有機農家や料理人と一緒に、未利用魚などの未利用資源を新しい形で加工し、活用する「v bottomOtsu(ニューボトムおおつ)」というプロジェクトを進めており、その一環として、未利用魚を活用した加工品を開発しました。

◆未利用魚の下処理方法を

料理を提供する方と一緒に模索し広める活動

漁業者だけではなく、お客様に提供する料理人と協力し合いながら鮮度が落ちにくくなる魚の処理の仕方を共有することで、足がはやく廃棄していた未利用魚の活用につなげています。

◆湖魚に興味を持ってもらうための取組

未利用魚の活用を進めるためには、湖魚がおいしく食べられるということを知っていただく必要があります。そこで、魚の捌き方やレシピも同封し、琵琶湖の旬の湖魚を詰め合わせた「淡水魚セット」を販売したり、一緒に漁を行い、魚をさばいて調理し、いただくまでの漁体験ツアーも開催しています。

また、地域のマーケットに水槽ごとに参加し、漁でとれた魚を水槽に泳がせて、その場で鮮魚や天ぷら、焼き物として提供しています。季節に応じた琵琶湖の魚の特徴を知っていただき、より湖魚に興味を持ってもらうことができます。子どもたちも普段だと見ることのできない水槽の魚に興味を持ち、食べていただくことで魚食離れの阻止につながると考えています。



びわ湖で水揚げされた多種多様な湖魚



v bottomOtsuの仲間の皆さん



他団体とのコラボで実現した未利用・低利用魚加工品



漁師仲間で下処理方法の共有



琵琶湖の旬を届ける淡水魚セット



地域のマーケットのようす

フィッシャーアーキテクト

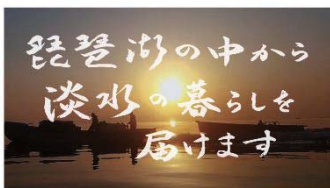
〒520-0515 滋賀県大津市八屋戸 944
Tel: 080-3862-1380
HP: <https://biwako-fisher-architect.com/>

事業内容: 湖魚の漁獲、加工、販売等。

固有種を含む多くの湖魚を美味しく食べるという習慣が古来からあったものの、多様な魚種を気軽に買い、食べられる地域が少ないのが現実ですが、魚ごとの特徴をクリアできれば美味しく食べる術は沢山あります。琵琶湖の恵みをいただき、琵琶湖と共に生きる人々を増やすことで、フードロスの取組に繋がればより一層嬉しいことです。



代表
駒井 健也さん



リデュース・リユース・リサイクル



サンキューファインホース夢プロジェクト
(steed プロジェクト)
(守山市)



HPはこちらから

取組内容

steed(優駿)競走馬の廃棄される調教用ゼッケンで
バッグを作って3Rを促進

再生素材ゼッケンのアップサイクル※×福祉

聴覚障害者の福祉的就労の場である「びわこみみの里」内にある「サンキューファインホース夢プロジェクト」では、滋賀県栗東市にある日本中央競馬会(JRA)栗東トレーニングセンターで使用されていた調教用ゼッケンをアップサイクルしたバッグを作っています。ゼッケンは年齢別に3色に色分けされており、また馬名のアイウエオ順についている番号との組み合わせで馬の個体名まで分かる、世界で1つしかないバッグです。

廃棄前にトレーニングセンターへ直接受け取りに行き、「選り分け」「洗浄」「デザイン」「縫製」など、県内数カ所の障害福祉サービス事業所が手分けして全ての工程を行っています。

ゼッケンはペットボトル再生素材で作られています。激しい調教でも簡単に破損しないよう、レース用よりも丈夫に作られているため、耐久性には優れています。以前は全てが廃棄されていたゼッケンですが、馬と多くの人との「共同・協業」によりバッグに生まれ変わることで、3Rに貢献しています。

※アップサイクル:本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生することで、「創造的再利用」とも呼ばれている。



完成品! デザインは豊富
滋賀県栗東市のふるさと納税の返礼品
としても人気が高い

ペットボトル再生素材であった調教用ゼッケンを更にアップサイクルするとはすごい! 馬好きにはたまらない「使っていたものだからこそ使いたい」逸品だね。エコと福祉の融合も素晴らしい!

プラボー!



何もしていない状態のゼッケン



一枚ずつ丁寧に洗浄



縫製も手作業



サンキューファインホース夢プロジェクト(steed プロジェクト)

〒524-0102 滋賀県守山市水保町165-1 びわこみみの里内
Tel:077-514-9078 email:info@steed.jp
HP: https://steed.jp/ http://www.33nosato.jp/
事業内容: JRAトレーニングセンターより、毎年廃棄される調教用ゼッケン(ペットボトル再生素材)を「もったいない」と県内数カ所の共同作業所の協業によりリメイクされたバッグ等の製造・販売

びわこみみの里:聴覚障害者の福祉的就労の場。現在、「菓子製造」「販売活動」「縫製作業」「内職作業」「施設外就労」に分かれて作業を行っています。



(社福)滋賀県立聴覚障害者福祉協会 理事 中村 正さん



滋賀県のごみ減量・資源化の取組等に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

リデュース・リユース・リサイクル



株式会社ブルーム
(守山市)



HPはこちらから

取組内容

産廃を自然素材 100%のシックハウス対策用壁材に

ホタテの貝殻の機能は無限大

ホタテの貝殻は年間推定約 20~25 万トンも廃棄されており、産地では悩みの種です。しかしその貝殻には多くの機能(消臭・抗菌・遠赤外線・断熱・防音・透水・保水・防草効果等々)があると聞き、捨てられている貝殻を何とか有効活用できないかと思いました。その中で、すでに骨材*として活用されていることを知り、当社でも塗り壁材として使用することを考えました。



何度も試作を重ね、平成 14 年(2002 年)にホタテの貝殻を活用した塗り壁材が完成。自然素材を 100%使用した左官壁材として、日刊工業新聞に掲載されました。その後、現場での作業性や品質の向上を考慮し、水であわせるだけのプレミックスを開発し、ホタテ健康壁「あわせ」と名づけました。「あわせ」は、「シックハウス症候群」の原因でもあるホルムアルデヒドなどの化学物質を吸着し、分解します(図1)。また、消臭効果も高く(図2)、通気性にも優れており、結露やカビの発生も防止してくれます。

ホタテ健康壁「あわせ」の基本趣旨である「人と環境にやさしい商品を世に広める」という理念は、会社の理念でもあります。この理念を広めるために「あわせの会」を設立し、日本古来の循環型社会を復活させる活動を進めています。建築業界の方のみではなく、企業や個人に幅広くご参加いただき、次世代に残せる安全な環境への取り組みを一緒に行っていきたいと考えております。

*骨材:モルタル・コンクリートなどを作るときにセメントに混ぜる砂・砂利の類の総称。

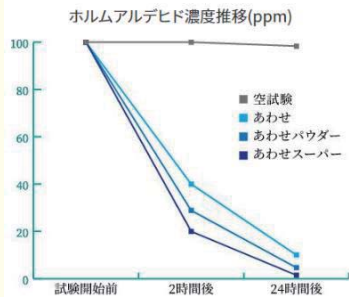


図 1:ホルムアルデヒド濃度推移

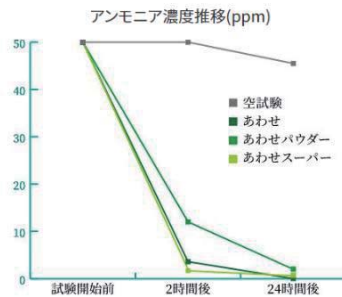


図 2 アンモニア濃度推移



「あわせ」の施工例

株式会社ブルーム

住所:〒524-0101 滋賀県守山市今浜町 2522-7
Tel:077-584-5529 email: info@awase.jp
HP: https://www.awase.jp/

事業内容: 天然素材(ホタテ貝殻)の有効利用、製造・販売・新商品開発

「人と人」を“あわせ”、「仕事と仕事」を“あわせ”る、1本の矢であれば何時折れるか分からないが、“あわせれば”共に発展し、互いに強くなれる、そんな商品になる様に願いを込めました。日本古来の循環型社会の復活を、建築業界のみでなく、一緒に目指せる企業、個人と共に、次世代に残せる安全な環境への取組を行いたいと考えております。



(左)会長 上月 忍 さん
(右)代表 上月 美花 さん



滋賀県のごみ減量・資源化の取組等に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

リデュース・リユース・リサイクル



Linkしが
(滋賀県全域)



HPはこちらから

取組内容

整理収納でモノを大切に暮らして
～エシカル消費をスタンダードに～

Link しがは、滋賀県在住の整理収納アドバイザー団体です。「整理収納で滋賀から人と地球の幸せを実現する」ことをビジョンに掲げています。誰でも気軽に取り組める”整理収納のスキル”でモノを活かし豊かな環境と共生できるライフスタイルを、以下の具体的な方法で発信しています。

モノの循環プロジェクト

家庭ゴミの減量・不要品を地域で循環させる場所づくり

●おしゃれな古着交換会

まだ着られるのに自分ではもう着ないアイテムを持ち寄り、メッセージを添えて着たい人へ託すお金のやり取り無しの交換会。譲り手と受け取り手の心を繋いでオシャレを楽しみながら環境に貢献できるイベントです。2011年から34回開催し、参加者は約1800人、交換アイテム数は約7300点に上ります。



おしゃれな古着交換会

●Link きもの(きもの譲渡会)

多くの方が困っておられる着物の処分…誰かに着てもらえるなら嬉しい！という要望を受けて、きもの譲渡会を始めました。気軽に着物を楽しむ暮らし、着物のリメイク提案、新たな着物の楽しみ方など、参加者同士の楽しい交流の場となっています。



Link きもの(きもの譲渡会)

子ども整理整とんプロジェクト

子供もできる”整理整とん3R”を伝える小学校出前授業

オリジナルの引出しワークセットでワイワイ楽しく整理整とんをしながら、リデュースやリサイクルを自分ごととして考える授業をしています。

2017年より開始。これまで延べ40校、71クラスで授業を実施し、1746名の子ども達が“整理整とんでできる3R”を学びました。



子ども整理整とんプロジェクト
出前授業の様子



Linkしが

Tel:090-1245-1021

HP : <https://linkshiga.jimdofree.com>

事業内容: ①モノの循環プロジェクト ②子ども整理整とんプロジェクト
③片づけ応援隊プロジェクト

Link しがは今年で設立12年目を迎えます。家庭の片付け作業で出るまだ使えるのに捨てられていく”もったいないゴミ”を減らしたいと、アドバイザー有志が協力しながら活動しています。昨年からInstagram「SDGsってなんなん？」を発信しています。ぜひご覧ください。

<https://www.instagram.com/linkshiga/?hl=ja>



事務局 香田雅子さん

リデュース・リユース・リサイクル



油藤商事株式会社
(犬上郡豊郷町)



HPはこちらから

取組内容

ガソリンスタンドはまちのエコロジーステーション



中小企業にしかできない SDGs がある

油藤商事は、滋賀県内3箇所の ENEOS のガソリンスタンドを経営しています。単なるガソリンスタンドの枠を超えた、地域循環型社会の新しいキーステーションを目指して、「ガソリンスタンドはまちのエコロジーステーション」をテーマに新たな取組に挑戦しています。

具体的には、ガソリンスタンド内に回収ボックスを設置して、各家庭から排出されるアルミ缶や牛乳パックなどの資源ゴミの分別回収を行っています。

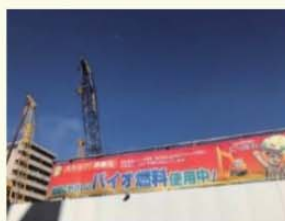
資源ゴミの回収のなかでも、とくに当社が力を入れているのが廃食油の回収です。一般家庭から出る廃てんぷら油は、洗剤と混ぜて台所から流すことや凝固剤で処理して捨てることが主流で、回収再生の比率は極めて低い水準です。当社では、ガソリンスタンド内の回収ボックスに持ち込んでいただくほか、灯油配達などの際にスタッフが各ご家庭より回収しています。

回収した廃食油は、当社でバイオディーゼル燃料(BDF)に精製します。BDF は、植物油を原材料とした液体燃料のことで、軽油のかわりに燃料として使用することができます。

県内の事業者や公共機関から廃食油を回収し、BDF 化しそれぞれの物流トラックや送迎バスなどの燃料として使うことで、地域の資源循環のサイクルを生み出しています。



バイオディーゼルを基軸にした地域資源循環リサイクル



【滋賀県草津駅前再開発事業でのBDF活用】
西松建設施工のタワーマンションの建設現場で、草津市民から回収した廃食油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料を建設重機に使用。

【浅小井農園(株)でのBDF活用】
また蒸留していないバイオディーゼル燃料は浅小井農園に持ち込まれ、ハウスの暖房用燃料として利用。



豊郷本社 ENEOS 豊郷 SS

油藤商事株式会社

〒529-1173 滋賀県犬上郡豊郷町高野瀬645
Tel:0749-35-2081 email : h-aoyama@aburatou.co.jp
HP:https://www.aburatou.co.jp/
事業内容:ガソリンスタンド、バイオディーゼル販売給油所、設備工事・住宅リフォーム工事

中小事業者にとってできる事はまだまだたくさんあります。「打つ手は無限」といいます。我々地域の事業者が、この地域のために何ができるのか、この国のために何ができるのかをしっかりと考えて、そしてしっかりと行動していきたいと思えます。そしてこの急激な時代の変化をスローにしっかりと笑顔で対応していきたいですね。



代表取締役
青山 裕史 さん



滋賀県のごみ減量・資源化の取組等に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

リデュース・リユース・リサイクル



学生服リユース shop
 さくらや滋賀草津店



HPはこちらから

取組内容

不要になった学生服でつなぐ“幸せのサイクル”

私にもできる SDGs

学生服リユース shop さくらやでは、「子どもの思い出のつまった学生服を捨てることができない」「なんとか家計を抑えたい」、そんなご家庭のために卒業やサイズアウトで不要になった学生服を、新たな家庭にバトンタッチするお手伝いをしています。

具体的には、学生服の回収ボックス(ツナグ回収 BOX)を協力企業様等に設置し、回収した学生服を必要とするご家庭に販売、または社会福祉協議会バザーや困窮家庭への寄付・支援を行うことで、次へ繋げる「学生服ツナグプロジェクト」を全国展開しています。なお、回収された学生服の査定金額分は、内閣府の子供の未来応援国民運動へ寄付しています。

日本の家庭から手放される衣服の量は年間 75 万トン。そのうち約 50 万トンが処分されています。全国 100 店舗のさくらやで、本来捨てられるはずだった学生服をリユースすることで、約 200 トンのゴミ削減につながっています。

また、さくらやでは、店舗ごとに様々な取組を実施しており、さくらや滋賀草津店では、寄付によるリユースランドセルの譲渡会を開催し、必要なご家庭へ無償でお届けし、有効活用しています。

今後は、他の企業と連携し、制服の回収 BOX を学校内に設置し、デザイン変更や破れ等でリユースできない制服も回収してエコバッグなどへリサイクルする取組を実施する予定です。

引き続き、リユース、リサイクルに取り組み、人も社会も幸せになれる資源の有効活用を推進していきます。



協力店舗での回収は、このポスターが目印



ランドセルの譲渡会も開催

学生服リユース shop
 さくらや滋賀草津店

店舗無し営業中、回収ボックスやイベント情報は、HPをご確認ください。
 Tel:090-1089-5829 Mail:sakuraya.kusatsu@gmail.com
 HP: <https://www.seifuku-sakuraya.com/blog/shigakusatsu/>

事業内容: 不要になった学生服や学用品等の回収・販売

「提供する側」「提供を受ける側」どちらも嬉しい気持ちになれる“幸せのサイクル”です。関わる皆さん誰もが『私にもできる SDGs』を感じていただくことの出来る循環型社会への取組であると思っています。皆様のご協力をお願いします。



店長 坪 宏美 さん



生活協同組合コープしが

滋賀県野洲市富波甲972番地



フードドライブの取組と 店舗・青果加工センターからの野菜くずの堆肥化の取組

1. フードドライブの取組

～食品ロスをなくそう×必要とする人の元へ～

コープしがは、2020年10月から、家庭で余っている食品を回収するフードボックスの設置を開始しました。組合員をはじめ、地域住民がフードボックスへの寄付を通じてフードドライブに参加することができます。



現在、宅配事業センターやコープの店舗、各事業所など県内21箇所まで寄付された食品はフードバンク団体や社会福祉協議会を通じて、生活困窮者や必要とする施設、団体等に届けられています。

また、2022年1月には、滋賀県社会福祉協議会との包括連携協定を締結し、物流センターで発生する仕分け後の余剰在庫品を滋賀県社会福祉協議会へ寄付するなど、未利用食品の有効活用に取り組んでいます。



在庫商品寄付のようす

2. 店舗・青果加工センターからの野菜くずの堆肥化・リサイクルの取組

2018年11月に、農福連携による雇用の創出と循環型社会の実現を目指して、コープしがの子会社として「ハートコープしが」を設立しました。現在、9名の障がいを持つ方々がコープの店舗や青果加工センターから出る野菜くずをたい肥化し、小松菜などの栽培に活用しています。さらに、コープの店舗や宅配で販売し、過剰生産になった野菜はフードバンクに寄付することで有効活用しています。



受賞者コメント

この度は栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。2023年でコープしがは創立30周年を迎えることとなります。フードドライブの取り組み、高齢者や子ども見守り活動など、ともに地域の暮らしを守る一員として、滋賀県や多くの市町、社会福祉協議会、フードバンクのみなさんとのつながりを持つことが出来ました。

30年の歩みに感謝し、組合員、役職員、コープしがに関わってくださるみなさんとの絆を強め、コープしがが理念として掲げる「ともに笑顔あふれる未来」に向かって元気にすすんでいければと思っています。



フードバンク滋賀

滋賀県草津市東草津1丁目2-35草津地域福祉事業所みんなの家気付



滋賀県内におけるフードバンク事業

フードバンクとは、食品関連企業において、包装の印字ミス等により販売が困難になった食品、農家における規格外の農産物、家庭で余った食品などの寄付を受け、食糧支援を必要とする団体や福祉施設などに無償で提供する社会福祉活動およびその活動を行う団体のことをいいます。



仕分け風景

フードバンク団体の一つであるフードバンク滋賀は、2009年の春にNPO法人COMPASSとしてフードバンク活動を開始し、2013年に現在のフードバンク滋賀(任意団体)にリニューアルし、毎週水曜日と土曜日の週2回、フードバンク活動を継続して行っています。



活動の特色として、活動日当日の午前中に集荷した食品を、日中に仕分けをし、その日の午後にはすべて個配(デリバリー方式)で配りきるという全国のフードバンクの中でも珍しい形で行っており、生ものである野菜や果物等も取り扱っています。その回収量は、毎月推計1t以上に達しており、毎週少なくとも約50世帯200名以上の生活困窮世帯へ無償で届けています。

また、県内の他のフードバンク団体の立ち上げに寄与し、企業や大学等と連携して取り組むなど、他者の参考となり、波及効果や環境意識の醸成につながる取組となっています。



愛荘町のサンタナ学園

受賞者コメント

この度は、滋賀県食品ロス削減優良取組表彰を頂戴し、誠に光栄に思います。この表彰は私たちの力だけでなく、日頃からご支援、応援をしてくださっている皆様のお力添えがあつてのことです。本当にありがとうございます。

私たちの活動は、皆様からいただいた寄付品を生活困窮世帯に1軒ずつお届けする活動がメインとなっております。一人ひとりと向

き合い、最終的には支援を受ける方々への自立のステップアップ、支援からの卒業を目標に活動を続けております。

これからも今以上にメンバーを増やし、より多くの助けを必要とされている方に救いの手を差し伸べられるよう日々初心を忘れず精進して参ります。

今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Going Nuts!

滋賀県近江八幡市仲屋町中21まちや倶楽部内



リユース容器と量り売りでたのしく美味しく“ごみゼロ習慣”!

Going Nuts!は、2017年3月のオープン当初から、必要な分を必要な時に購入することができるナッツの量り売りを通して、買い手が手軽に楽しく食品ロス削減をはじめのきっかけ作りを行っています。

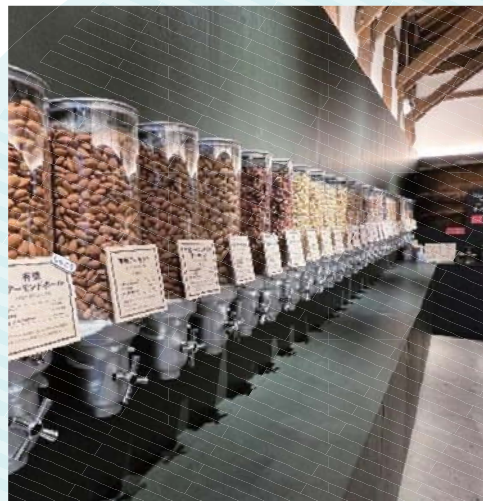
店舗では、約70種ものナッツ、ドライフルーツやナッツペースト等が、それぞれの量り売り専用の什器で販売されています。量り売りなのでリユース容器(Going Nuts!オリジナル瓶・容器、持参したマイ容器等)の使用によって、少量から、必要な分だけ購入することができます。また、店頭で人気のナッツスムージーは、マイボトルやオリジナルグラウラー、再生プラスチックを利用したスト

ロー不要のドリンクカップでも提供可能なことから、プラスチック容器包装の削減につながります。

SNS等による情報発信も行っており、必要な分を量り売りで購入することによる食品ロス削減の啓発やリユース容器利用の促進にも取り組んでいます。その他、ホテルやカ



挽きたてナッツペーストの量り売り



70種類ものナッツ等の量り売り専用什器

フェ等の様々な業種への量り売り専用什器の卸売を行い、量り売りの拡大に努めています。

今後、Going Nuts!の取組をきっかけに、滋賀県の食品ロス削減をはじめとする「ごみゼロ」の意識が高まることが期待されます。



▲ 炭酸やアルコールにも使える
Going Nuts!オリジナルグラウラー

◀ Going Nuts!オリジナル瓶



店頭で購入できる食品保存に適したリユース容器

受賞者コメント

このような荣誉ある賞をいただきとても光栄です。身近な一歩から食品ロス削減や、ごみゼロに取り組んでいく事は、琵琶湖や河川とつながっている海の生態系を守り、私たちの食や健康、環境を守ることになります。琵琶湖を預かっている私たち滋賀県民が量り売りに取り組むことで次世代に日本の美しい自然を残していく事ができます。

私たちは引き続き、過剰包装をやめる、包材は繰り返し使う、必要な分量を量り売りで購入する、野菜や果物の見た目が美しいものより美味しさといった中身で選ぶことをお客様に発信していきたいと考えています。当店では、楽しいお買い物を通じて、食品ロス削減をはじめとするごみゼロに取り組んでいただけます。

令和5年10月1日から

しがプラスチックチャレンジプロジェクト を開始しました!

滋賀県では、令和5年10月から、県民の皆様に対し、ライフスタイルを見直し、プラスチック代替製品の利用、マイボトルの持参などプラスチックごみ削減に向けた実践行動のチャレンジを後押しする「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」を展開しています。

■「しがプラチャレンジの日」

毎月一日を「しがプラチャレンジの日」とし、プラスチックごみ削減に資する行動をとる特別な日と捉え、ライフスタイルを切り替える機会とします。皆様のチャレンジをサポートするため、毎月発行する「プラチャレ通信」で実践行動の例をご紹介します。また、「しがプラチャレンジの日 テーマソング」やプラごみ問題や実践取組に関する動画配信等も行っております。

プロジェクトの詳細については、滋賀県ホームページ「ごみゼロチャレンジしが」をご確認ください。



▲湖神 挑一
(プロジェクトキャラクター)

滋賀県食品ロス削減推進計画 の概要

■計画の理念「三方よしと県民総参加でフードエコ」の概要

「売り手よし!」、「買い手よし!」、「環境よし!」の「三方よし」の精神のもと、県民総参加で「食品(フード)」の「環境保護への取組(エコ)」を実践。

■施策の方向性と基本的施策

- (1) 知識や意識の向上と具体的な行動の実践
- (2) 食品ロス発生量等の実態把握
- (3) 未利用食品を有効活用する仕組みづくり

■求められる役割と行動

- 県民一人一人が食品ロスの問題を「我が事」として捉え、「行動」に移すことが必要。
- 消費者、事業者、マスコミ・消費者団体・NPO等、県、市町が、それぞれに「求められる役割と行動」を実践するとともに、各主体が連携し、食品ロス削減の取組を推進。



▲計画の詳細は、滋賀県ホームページをご覧ください。

滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト



「ごみゼロチャレンジしが(滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト)」では、事業者や団体、行政が実施するごみ減量などの取組に関する情報や3Rの実践例、補助金情報などを提供しています。

また、子ども向けの「キッズ教室」ページや、食品ロス削減や資源の店頭回収情報などを掲載して、皆さんに使いやすいサイトを
目指しています。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/index.html> ▶